

季節のことば

花は紅、柳は緑。萌黄色した根に、ほととぎすの声が聞かれるのは里山豊かな地区だろう。サクラはひとしきりの華やぎが、歌だけでも心の癒しを感じて新緑に移る。鳥はうたい、蝶は舞い、野にも山にも街にもウキウキ気分がいっぱいの季節。卯月（うづき）は陰暦四月の異称だからまさにこれからの五月に当たる。卯の花のおう垣の芽どき

三笠NEWS

三笠ニュース

PR句報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101-0064 東京都千代田区猿蓑町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

抜群の輾圧力... ヘビー級 MT-84F 4サイクル ランマー登場

三笠のタンピングランマーは、オイルバス式のMTシリーズが普及しはじめた頃から急速に高性能化し、比較的軽量の機種でも強力な輾圧力が得られるようになりました。また現場でも運搬や取りまわしの楽な軽量タイプのものが好まれるようになってきました。そこで、三笠では4サイクルガソリンエンジン搭載のタンピングランマーも50kgfクラスのMT-55と70kgfクラスのMT-72FWLの2機種を開発し提供してまいりました。

特にMT-72FWLは安定した打撃姿勢と多くの現場に対応できる打撃力（ 그리스式のベストセラー機であるMTR-80HRと同等）で高い評価を頂いておりますが、交通量の多い市街地での管理設工事では、工事後の地盤沈下による手直しをなくすために、より強力な打撃による重輾圧のできるランマーが望まれておりました。

こうした声におこたえするため、このたびMT-72FWLに比べ30%以上打撃力をアップした80kgfクラスで4サイクルガソリンエンジン搭載のタンピングランマーMT-84Fを開発いたしましたのでご紹介します。

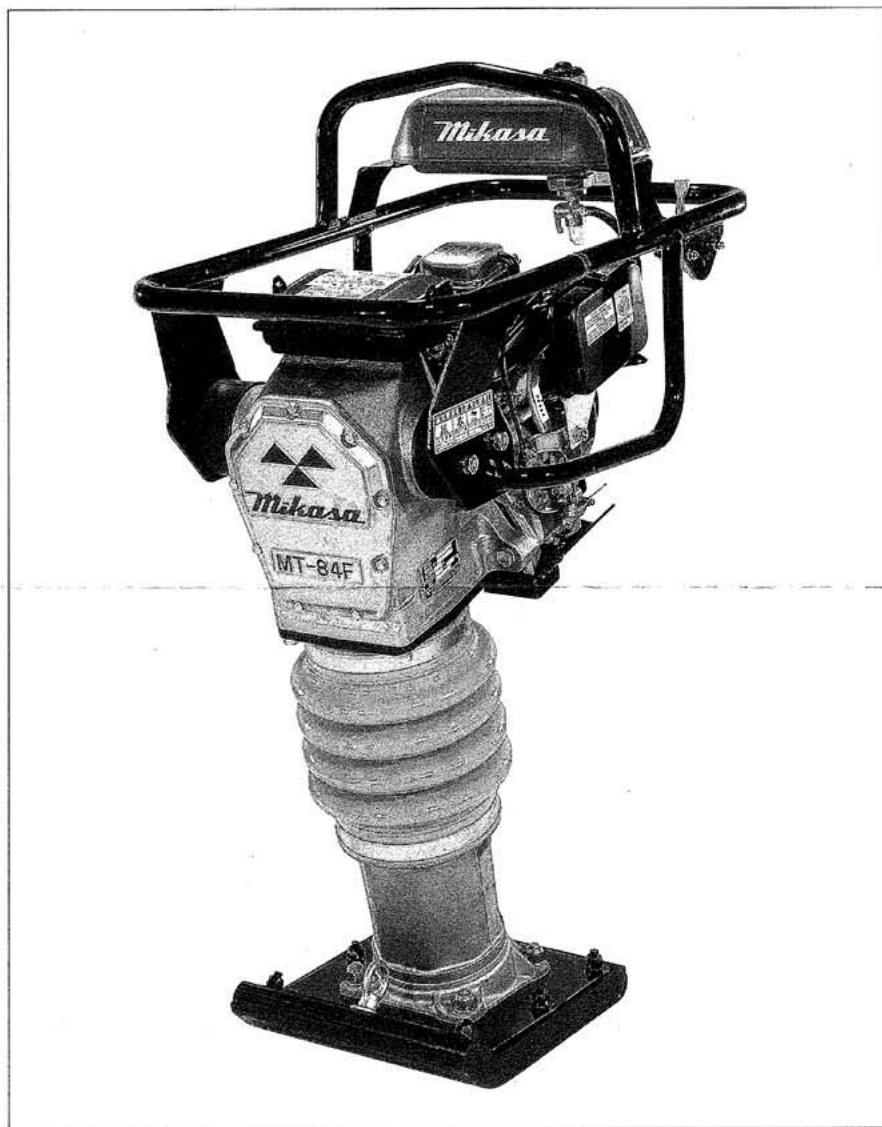
環境に優しく耐久性に優れた4サイクルガソリンエンジン搭載

エンジンはMT-72FWL同様、富士重工製のEH-12を採用しました。このEH-12は

- ① オートデコンプで始動が簡単
- ② 騒音が小さく低燃費
- ③ クリーンな排ガス
- ④ 優れた耐久性

仕 様

型 式	MT-84F
機体寸法 mm	全 高 1,025
	全 幅 415
	全 長 730
衝撃板の寸法 mm	幅×長さ 285×340
装備質量 kg	84
衝撃板のストローク mm	50～80
打撃数 min ⁻¹ (毎分)	660～698
打撃力 毎回kN(kgf)	13.7～15.6 (1,400～1,600)
燃料タンク容量 ℓ	2
エンジン	型 式 ロビン EH12 OHV式 4サイクルガソリンエンジン
	最高出力 kW/min ⁻¹ (ps/r.p.m.) 2.6/3,600 (3.5/3,600)
	燃 料 無鉛レギュラーガソリン
	潤 滑 油 自動車用エンジンオイル SE級以上



⑤ 燃料コックを閉じれば、全方向に90°で横倒しが可能などの特長があります。

メンテナンスの手間を省くダブルエアークリーナー機構

他メーカーに先駆け三笠が開発し、今やランマーの標準装備品となった感のあるダブルエアークリーナー機構により、通常はクランクケース上部のプレクリーナーをメンテナンスするだけで十分な濾過性能を発揮します。

エンジンを護るガードとプロテクターを装備

ハンドル両サイドに設けたガードパイプにより、マフラーやエアークリーナーの損傷を防ぎます。更にエンジン下部に取付けたプロテクターで、キャブレター周辺のリンク類及びオイルゲ

ージの損傷を防止します溝の中の作業も安心して行なえます。

強力な輾圧力に耐える強固なクランクケース

機体の仕様を大幅に見直し、80kgfという重量に見合う輾圧力と作業時の機体安定性、その輾圧力に耐えられる機体の強度を確保しました。特にエンジンの重量を支えるクランクケースには特殊鋳鉄を使用し、十分な強度を実現しました。

オリジナル新型調速レバーを採用

MT-55で採用して好評な三笠オリジナルのアルミダイキャスト製調速レバーを採用しましたので微妙なエンジン回転の調整もスムーズに行なえます。

フートに耐磨耗性の特殊素材を採用

フートの金属板には耐磨耗性に優れ



声に出して読みたい日本語という本が仰山に平積みされている。いつもの販売戦略パターンだから余り関心は寄せないが、それでも挨拶気分の手にとってみた。名詩文や美文名せりふ早口ことば落語がまの油売りの口上エトセトラ、寄せ集めて朗唱暗唱のテキストを意図したアイデア出版書だ。「日本語の宝石」と編者はいう。これを声に出して読み、身につけて楽しんで下さいとある。

多かれ少なかれ人は愛唱する文章をもっている。日本語では七五調のリズムのある文体が親しみ深いようで私などもいつ覚えたのか「まだあけ初めし前髪の／林檎のもとに見えしとき／前にさしたる花櫛の……」と唱え始めればよどみない。「春のうららの隅田川／のぼりくだりの船びとが……」も七五調だ。さらに白浪五人男の弁天小僧。この本では「知らざあ言って聞かせやしょう……」の浜松屋を採録しているが、私は稲瀬川勢揃いの方か好ましく覚えている。「さてその次は江ノ島の／岩本院の稚児あがり／ふだん着馴れし振り袖から／蓄も島田に由比ガ浜（中略）鎌倉無宿と肩書きも／島に育ってその名さえ／弁天小僧菊之助……」

この河竹黙阿弥の七五調が明治の演劇改良運動者から徹底非難を受け、坪内逍遙がただひとり反対論陣を展開した……。言葉は音楽にもなり、また精神を震撼させる衝撃も与えてくれる。外国語をそこまでマスターするのは至難の技。やはり母国語の良さである。ひとしきり、あれこれと想念の去来を楽しめたのは、アイデア本『声に出して読みたい日本語』の効能だったろう。

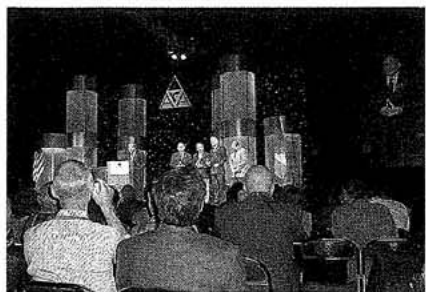
た高強度特殊鋼を採用しましたので耐久性が大幅にアップしました。

このように従来からの技術に加えて新しい機構、新しい素材、新しいアイデアを盛り込みましたこのMT-84F型タンピングランマーの力強さを是非お試しください。

……新製品発表の効果を実感…… ARA建機展 賑ったMQ社ブース

2月18日～21日、アメリカ/ニューオリンズにてARA(アメリカンレンタル協会)主催による建機展が開催された。アメリカの代理店であるMulti Quip(MQ)社が出展する為、弊社からは小職と技術部に所属している永澤主任の2名が出張した。世界各国で開催される数ある展示会の中でもこのARAは最も伝統ある展示会のひとつである。開場に先立ち、オープニングセレモニーでMQ社を創設されたレビン会長が「長年ARAに貢献した人物」としてARA殿堂入りする事となった。大リーグや日本のプロ野球でも行われている野球殿堂(Hall of Fame)と同じであり、ARA雑誌関連記者2名と同時の殿堂入りである。この貴重な表彰式を映像に残しておかねばと、日本からデジタルビデオを持参した小職は良い席を確保する為に30分以上前に展示会場に着いていたのだが、この建物がとても広く広過ぎてセレモニー会場がわからない。近くにいた警備員に聞いても何も知らないようで、「アーユージャパニーズ？」などと訳の分からない答えが返ってくる。

早く行って良い席を陣取らねばという焦りが時計を余計に早く進めたのか、いつの間にか開演5分前になっていた。とりあえず近くを歩いていた関係者らしき人の後を着いて行きようや



くたどり着く事が出来たのだが、会場には既に人がわんさかいる。どうにかステージ前から5列目を確保して本番前の試し撮りをしてみたのだが、驚く事に写っているのは人の頭ばかりである。さすがアメリカ人だ。座高も高い。これはマズイと思い、実際の撮影時には中腰で挑んだ。しかし、普段の運動不足のせいか、その体制を持続する事は無理があり足が震えはじめる。撮影時間は僅か5分程度であったが、足の震えがそのままビデオに伝わり、後で再生してみると妙に画面が揺れている。そして、再生終了後には何故か頭が痛くて気持ち悪い。生まれて初めてテレビを見て酔ってしまった。何はともあれ、無事撮影出来たのは喜ばしい事であり、レビン会長の殿堂入りを心から祝福したい。

そして、10時の開場と同時に来場者が訪れはじめた。米国の景気後退が影響してか、ARAへの来場者は昨年よりも減っており、それに伴い展示会での売上も減少している。しかし、少ないながらもMQ社のブースに来場者が途切れないのは代理店として頼もしい限りである。当然ながら競合各社も出展してはいたが、1ヶ月前に行われたARA同様の大規模な展示会であったWOCと3月に行われるCONEXPOに挟まれた事も関係してか、特に目につく新製品は発表されていない。そんな中、我々の新製品であった4サイクルランマー“MT-65H”は一際目立っていた。MQ社も同製品をこの展示会の目玉として位置付けており、同社ブースへの来場者に対してのP.Rも繰り返し行ってくれた。この製品に限らず、昨今の暗い景気停滞感を打破する効果的

な手段のひとつとして、新製品の発表はとても有効ではなかろうか。メーカーとして、常に新しいものを開発して発表していく大切さというものを身にしみて感じる事が出来た。

せっかくなので、少し街の紹介をしておきたい。ここニューオリンズはジャズ発祥の地であり、一般にジャズのイメージが強い。従って、街中は何処も彼処もジャズだらけと想像していた。しかし、観光スポットとして名高いフレンチクォーターにはジャズ以外のさまざまな音が入り乱れている。ドアを開けばなしのライブハウスからはブルースやR&Bが流れてくる。そしてストリップ小屋からは口笛と大きな歓声が漏れてきた。「ここが本当にジャズの街なのだろうか」という疑問を抱きながら歩いているとようやくある光景が目についた。街灯の下でサクソ奏者である。上手いのか下手なのかはわからないが、大きな音を響かせながら誰もいない路上で孤独に吹いている。これが想像していたニューオリンズであろう。そして、もうひとつ紹介しておきたいのが食べ物である。小職、訪れた国の珍料理には必ず挑戦しており、その信念をここでも貫き通した。まず一番の名物として挙げられるのが“オイスター”。しかし、オイスター自体は何処にでもある料理で珍しくも何ともない。次に発見したのは“クロウフィッシュ”。これは子供の頃に近所



の池で釣ったザリガニである。それも、めったに釣れなかったあのアメリカザリガニだ。しかし、調理後は全く原形を留めていない上、味も普通のエビみたいである。「これといった料理はないな」と諦めかけていた時にある物を発見した。“アリゲーター”だ。ワニである。「アリゲーターの足」という料理名だったが、これはなんとも珍しい。ザリガニ同様に見た目ではそれとわからないが、初めて口にすると舌触りである。しかも、かなり美味しい。ワニには悪いが、食が進んだ。この街の雰囲気といい料理といい、想像とは異なった何とも言いがたい魅力をたっぷりと感じ出来た事は確かである。

最後に、今回の出張でお世話になったMulti Quip社社員の方々や関係者の皆さまにこの紙面を借りて御礼申し上げます。

海外一課 小澤記

北欧の三笠ファン…… 怪人リンド 一 reunion 篇

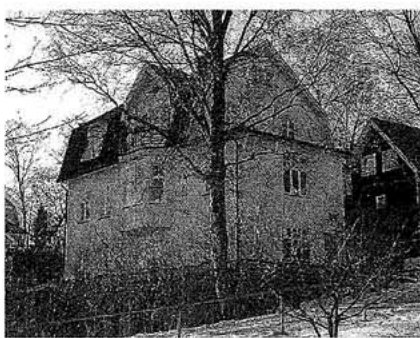
40分待ったが、いっこうに現れない。しかたがない、たしかホテルの名前をどこかにメモしているはずだ。タクシーで行こう。そう決心してカバンの中をかき分けてメモを探していると、背後に気配を感じた。振り返ると、リンド氏(スウェーデンの三笠代理店Epo社)の社長)が立っていた。プレザーに三笠の社章が光っている。

「よろしい。私を信じて待っていたのだな。実は空港の拡張工事でいつもの駐車場が使えず、臨時駐車場からここまでくるのに時間がかかったのだ」

慌ててホテル名の書かれた紙片をポケットに押し込んだ。リンド氏は、直立不動の姿勢をとると、あらたまった口調でこう言った。

「スウェーデンによこそ」

2002年1月。スウェーデンの首都、ストックホルム、アーランダ空港。怪



1907年建造のリンド邸。1988年に購入し、自分で改装し、引っ越したのは6年後の1994年のこと。

人リンドとの再会であった。

臨時駐車場までは、たしかに長い道のりだった。重いスーツケースを引かずして、2回雪道で転んだあげく、ようやく車の前に着いた。ところが今度は車のトランクが開かない。鍵穴が凍結しているのだ。風が冷たい。零下10度位だろう。しかたがない、スーツケースを後部座席に斜めに積み込んだ。

トヨタのカムリだった。

「これはジョセフィンの車だ」
ジョセフィンとはリンド氏の愛娘の名前である。彼女は現在、父親リンド氏のもとで働いている。

「私の車は昨年暮れに廃車にしたんだ。秋、ある日の夕方のことだった。道路脇の木にぶつけてしまい、ボンネットがやられた。修理屋に持ち込んだところ、頼むから勘弁してくれという。部品はないし、修理したところで高くつくと言うんだ。それで泣く泣く手放すことにした。1976年製のクライスラーのVisonで排気量2,500cc、まだ18万キロしか走行していなかったのに残念だ。いい車だった」

こちらの人は「もの」を大事に扱う。後日お会いした顧客が乗っていた車は古いベンツだったが、運転席の右横に料金メーターが付いたままの元タクシー車だった。中古車なのだ。走行距離はすでに40万キロを越えていた。

かくしてスウェーデンの濃密な2日間が始まったのである。一日中、事務

所に幽閉され、機械の機能的問題点、デザインの改良要求などで微に入り細に入り追求された。警察の取り調べ室で長時間、自白を強要されているような心持ちになり、思わず“私が悪うございました”と言ひそうになった。(ならない、ならない)

2日目には、吹雪の中、4、5社ほど顧客を訪問し、雪に埋まった三笠の機械や競合機械を掘り起こしながら、品質談義に花が咲いた。(咲かない、咲かない)

1974年以来、三笠の御意見番を自他共に認めるリンド氏である。その彼との交渉は骨がおれる。しかし、機械の細部にこだわったアドバイスや要望事項は、経験に裏付けられた確固たる信念と、何よりも三笠に対する強い思い入れと愛着があればこそである。示唆に富んだアイデアに助けられたことも多い。

ところで、リンド氏の会社(Epo社)から、狭い坂をはさんでリンド邸が見える。彼の住居は、会社と隣接してい

るのだ。通勤時間15秒。

1907年に建てられた屋敷で、5階建てである。「じつは5階までまだ上がったことはないのよ」と奥さんが言っていた。この広大な屋敷に、リンド夫妻と愛犬オーサが住んでいるのだ。娘のジョセフィンは昨年に独立し、以来、町で暮らしている。彼女は土木技師で、ちなみに彼女の兄、ジョナサンは外科医である。ここだけの話、ジョセフィンの風貌はリンド氏にあまり似ていなくてよかったと思う。もっとも性格は似ているのだが。

さて、怪人リンドもすでに還暦である。彼には障害があり、補聴器を付け

ているが片耳がほとんど聞こえない。最近、もう片方の耳も調子が悪くなってきた。ときおり、自分に都合が悪い話になると、まったく聞こえない、と笑って冗談をいう。それにしても心配である。

スウェーデンを去る日。ジョセフィンは空港まで見送ってくれた。ところが、出発ターミナルの方向を見失い空港の敷地をぐるぐる廻るはめになってしまった。いつまでたっても着かないのである。困った。すでに搭乗時刻が迫っている。その中で、焦っているジョセフィんに話しかけた。「あなたの父親は、何と言ったらよい



リンド親子(日本の居酒屋で)

か、ユニークな人で業界でも有名なんだ。怪人リンドと呼ばれたりもしている。他人からは、^{けんかっ}狷介で取り付きにくい人だと思われているが、彼は、かけがえのない傑物だと自分は思っている。憎めないというか、いや、尊敬し

ているというか…、だけど、もう歳も歳だから、無理をしないでほしいと思う。あなたが^{そば}傍で支えて欲しいんだ」

まあ、そんなようなことをどきくきの中で話したのである。一方、ジョセフィンのほうはターミナルの入り口がまだ見つからず、パニック状態に陥っていた。結局、進入禁止と書かれた道路を強引に突破して、入り口に滑り込んだ時は、ちょうど搭乗開始時刻だった。別れ際の一言は、飛行機搭乗のことを言っていたのかもしれない。すてきな笑顔だった。

「大丈夫よ。心配ないわ」

(文責 ふの字)

技術教室



(MT-55型タンピングランマーのエンジン調整について教えてください。)

札幌市の酒田さんのご質問にお答えします

数年前までランマーは、空冷2サイクル混合ガソリンエンジン搭載型が多く採用されて来ましたが、重機などに課せられた排ガス規制の影響もあり最近では空冷4サイクルガソリンエンジン搭載品を使用されるお客様が増えつつあります。

ランマーは、縦に長い機械です。その為に、使用しない時や移動の時に本機を寝せる(倒す)場合が有ります。オイルバス式及び空冷4サイクルガソリンエンジンは倒すことに起因するとされる不具合のお問い合わせや調査があります。今回の技術教室はこのあたりにテーマを絞って行きたいと思いますが、まずは原動機となりますエンジン回転数の調整に関する所から話を進めます。

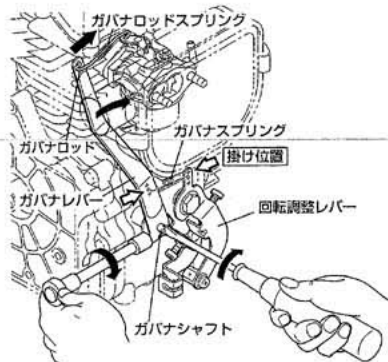
ランマーでお問い合わせが多いのは、上下に跳ねるタイミング(打撃)の不整です。エンジンの回転は、遠心クラッチを介して本機内のギヤに伝わるのですが、打撃が不整となる多くの原因はこのクラッチが半クラッチとなった場合に発生します。

半クラッチの原因として最も多いのはエンジン回転数に起因するものです。エンジン回転数が中途半端ですと遠心クラッチの開き(接触面)も中途半端でクラッチが繋がりきれずに動力の伝達が不十分となり、本機の不整によっていわゆる「機体が踊る」という状態になります。そのため取扱説明書でもアクセルレバーは一気に上げて動かし、一気に下げて停止する様に説明しています。

ランマーに搭載されている空冷4サ

イクルエンジンの回転数は、エンジン本体にあるガバナ(鍾)の位置によって決まります。ガバナの位置は、エンジンクランクケース外に出されたガバナシャフト(軸)で調整します。先ず、このガバナ装置の調整方法をMT-55型に搭載しているEH09ロビンエンジンを例に説明いたします。

- ① アクセルレバーを最高速の位置に開き、調速ワイヤーを通してエンジン側の回転調整レバーを高速方向に傾けます。
- ② 回転調整レバーが、ガバナスプリングを引き、ガバナレバーが引き付



けられ、ガバナロッドを押し(引き)、キャブレターのスロットルバルブが完全に開いていることを確認します。(図参照)

- ③ マイナスドライバーを使用し、ガバナシャフトを時計回りに回転させた位置で、スパナ等を使って固定ボルト(M6)を締め付けてガバナレバーをガバナシャフトに固定します。この時、セット位置が不十分だと装置が機能しません。アイドリングが高速回転になったりします。その場合は、再度セットしてください。ガバナ調整をしましたら次に、キャブレター(気化器)の回転調整をします。

- ① アクセルレバーを低速にしてエンジンを始動します。
- ② キャブレターのスロットルレバーを全閉にして、キャブレター上部のストップスクリューで1,400±100m⁻¹(rpm)にセットします。
- ③ 次に回転調整レバーの奥にあるベースプレートの右上にある低速セットスクリュー(A)で1,800m⁻¹(rpm)にセットします。
- ④ 最後にアクセルレバーを最高速の位置に開き、ベースプレートの左下にある高速セットスクリュー(B)で

エンジンの最高速セット回転数をセットします。

MT-55型は、工場生産時に4,050~4,100m⁻¹(rpm)です。MT-52FW型は、3,750~3,950m⁻¹(rpm)です。

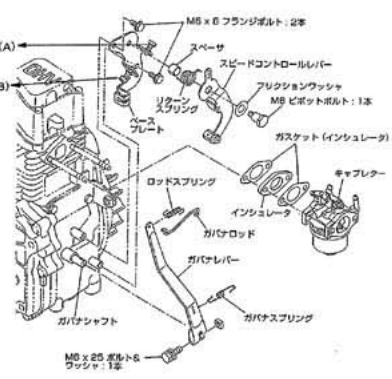
以前は、エンジン回転数を3,600m⁻¹(rpm)にセットすれば良い機械が多く、アバウトで良かったのですが、最近の機械は徐々に小型高性能化され、合わせてエンジンセット回転数も上がって来ている。この為、昔のように耳でエンジン回転数を判断する事が難しくなっています。その代りに点火コイルから点火プラグ(栓)間の配線にクランプして、発生する電気のパルスからガソリンエンジンの回転数を簡単に測定できるデジタルタコメーター(パルスメーター)が普及しています。

弊社では整備用特殊工具としてデジタルタコメーターPET-2000DXを取扱っています。

又、MT-55型、MT-52FW型双方ともロビンEH09型エンジンを搭載していますが、上記セット回転数及び本機側エアクリーナの違いからキャブレターの燃料を調整するメインジェットが違いますので、ご注文の時はランマー本機の型式を指定して下さい。

三笠製MT型オイルバス式ガソリンエンジン搭載のタンピングランマーで使用しているオイルは、本機・エンジン共に自動車用ガソリンエンジンオイル(SE級以上、SEA10W-30W)です。

本機は、樹脂製ベローズ下部に在る2つのプラグ(盲栓)の内、高い位置にあるプラグがオイルのレベルになります。オイルが不足すると本機・エンジン共にピストンなどの焼き(傷)付きや軸受け部の破損の原因となります。逆に多量たり、固かったりしますと本機は過負荷となります。何れの



場合にも、冒頭に記した遠心クラッチが半クラッチとなり上下運動が不整脈を生じ本機が踊ってしまったり、クラッチのスプリングが切れたりする原因にもなります。

手許への防振性能が向上したMT-52FW型やMT-72FWL型の登場以降は、操作者が本機の輾圧力を実感しなくなりました。その結果、更に輾圧力を強くしようとエンジンのセット回転数を上げてしまうケースが発生しています。このエンジン回転を上げ過ぎる事によって、エンジン及び本機の潤滑をしているオイルが影響を受ける場合があります。

エンジン回転数が高過ぎたりオイルが多過ぎると本機・エンジン共に内部の圧力が上がり過ぎ、空気の逃げ道などからオイルが洩れ出ます。又、本機を寝せた(倒した)為にフート板の位置が高くなり過ぎると本機ブリーザー及びエンジンの各穴部よりオイルが洩れる可能性が有ります。

クランク室内にオイルが在る空冷4サイクルガソリンエンジンを搭載する事によって、オイル管理の気配が必要になった為かこのオイル漏れに対するお問い合わせが増えております。

本機が外的要因によって破損し、クラックなどからオイルが漏れる場合も有りますので、本機洗浄の際はご注意ください。

以上、紙面の都合でエンジン回転数のセット方法やキャブレターとオイルの説明しか出来ませんでした。三笠タンピングランマーを常に最高の状態でお使いするための参考にして頂ければ幸いです。

旅と絵でたどる「万葉心の旅」

本紙連載「忍法猿楽流三笠丸」でお馴染みの永井郁氏が万葉シリーズ2作目を出しました。是非お読み下さい。なお、抽選で10名様にプレゼントします。ご希望の方は三笠ニュース編集室宛におはがきでお申し込み下さい。



永井郁著・画
2400円

日本教文社刊

東北三笠レンタル会 福田会長、青梅を快走

さる2月17日(日)、
第36回青梅マラソン
(東京都青梅市主催)
が同市多摩川沿いのコースで行われ、この大会に東北三笠レンタル会会長 福田会長
である幸和機械株式会社(秋田県能代市)福田幸夫社長が参加されました。国内最大規模の市民マラソンである同大会は回を重ねるごとにその人気の度合いを増し36回目の今大会では、1万5千人のランナーがゴール目指して力走しました。

日頃から走ることが好きな福田社長は毎朝のマラソンを欠かさず、また青梅マラソン以外にもハワイのホノルルマラソンや岩手の宮古マラソンへの参加経験もあり、走ることが仕事におけるパワーの源となっているのでは、ともっぱらの評判です。

東北では冬の寒さが今だ残っておりますが、ここ東京の青梅マラソンの会場はスタートの合図を待つ大勢のランナーの熱気も手伝って、福田社長が出場する10キロの部がスタートする午前10時には、青空がのぞいておりました。

青梅マラソンには豊富な出場経験がある福田社長だけに自身の走るコースは熟知しており、またペース配分もお手のもので、周囲の景色に目をやり、沿道で応援する人達に笑顔で応える余裕をもってゴールを迎えました。

気になるタイムの方は、昨年に引き続き今大会も、1時間の壁を破る56分台の記録をマークし、また順位も完走者2,908名中、300番台でゴールし、気力・体力共に充実ぶりを窺わせる快走



福田会長

でした。
最後に、福田社長様の益々の快走と幸和機械様の益々のご発展、そして社員の皆様方の御活躍並びに御健康を心よりお祈り申し上げます。

東北一課 欽農記

館林工場/春日部工場 ISO9001:2000版取得

三笠産業の館林工場並びに春日部工場では1999年2月に1994年版ISO9002の認証を取得しましたが、2000年12月に2000年版ISO9000規格が制定され、ISO9001:2000となったため、3年目の更新審査を期にこの規格を取得しました。

審査機関は、電気安全環境研究所(JET)で認証番号は、JET-0154です。

ISOでは、すべてのISO規格を、5年に一度改正することを規定しています。

ISO9000シリーズは1987年3月に制定され、94年7月に最初の改正を実施し、2000年12月に2度目の改正が実施されました。2000年版のISO9000sは、従来の9000sに対して大幅な整理・統合が実施された結果、ISO9000、9001、9004に集約され、認証用規格であるISO9001/9002/9003はISO9001に統合されました。

この結果、ISO9001の規格名称は、1994年版が「品質システム設計、開発、製造、据付け及びサービスにおける品質保証モデル」であったのに対し、2000年版では「品質マネジメントシステム要求事項」に変更されました。

認証用規格であるISO9001:2000には、1994年版のほとんどの要求事項が含まれていますが、製造業中心であったものを全業種に適用できるよう、わかりやすい規格になっています。

このほか、教育訓練の有効性を評価

するシステムの確立、システムの継続的改善を行なうプロセスの決定、トップマネジメントの役割強化、顧客要求事項の確認プロセスの確立、顧客とのコミュニケーションの手順の確立、品質マネジメントのパフォーマンスの測定として、顧客満足/不満足の情報モニタリング等が新たに規格化されています。

わが社では、2000年版の取得を機に、品質方針のキャッチフレーズである「お客様が喜ぶ製品を生み出す力は、私達の未来を築く」のモットーのもと、全従業員が団結して、一層のレベルアップを図ります。

第16回オープニングフェア 札幌営業所にて盛大に開催

北海道三笠レンタル会の協賛による、第16回オープニングフェアが3月19日(火)、20日(水)の2日間、札幌営業所にて開催され、今年も道内各地からたくさんのお客様にご来場頂きました。

展示場では、調速レバーでジャンプ量と打撃数を調整することができるMT-55ランマーや今や小型輾圧機械の横綱的存在のMVH-304DSBをはじめ、新製品のMVH-R60/R60L、重輾圧でしかもリモコンで操作できるMVH-702DSRCの前後進パイロコンパクターや、各種の安全装置を標準装備したMRH型ローラー、マイコンパイブレーターを筆頭に各種パイブレーター群、コンクリートカッター等がご来場者を出迎えました。

商談コーナーでは、生ビールを飲み、焼鳥、おそばを食べながら商談に花が咲き、ランマーをはじめ、コンパクター、パイブレーター、パイロコンパクターとたくさんのご成約を頂きました。又、アトラクションとして、すっ

忍法猿楽流 三笠丸 永井 有B



かりお馴染みとなりましたプロゴルファーによる無料レッスンコーナーでは、多くのお客様がレッスンを受けられ、今年のスコアアップを誓っておられました。

楽しいムードの中、あっという間の2日間が過ぎ、多数のご成約を頂きました。

札幌課 河合記

三笠クイズ VOL.45

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、春らしい言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ア	B	C	D	
3	イ	2		
ウ		5		4
			エ	F
			オ	

ヒント

ヨコのかぎ

- ア. 1600年、ここで天下分け目の大合戦が行われた。
イ. ○○○○の煙とは、自分の力ではどうすることも出来ず、相手の思うがままの状態にあること。
ウ. 山や林の材木を切る人。
エ. ここで食べるラーメンやおでんはなぜか美味しい。
オ. いろいろと考えてすること。○○○惨憺。

タテのかぎ

- A. 今年の入試は倍率が高く、○○○○○となった。
B. 大豆を炒って粉にしたもの。砂糖を混ぜて餅などにまぶして食べる。
C. あらまし。○○○○○を説明する。
D. 布地で作り、さおにつけて空中にひるがえすしるし。正義の○○○をかける。
E. 増し加えること。何かの○○○にして下さい。
F. 対になったもの。○○○タワー。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえ応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 ①01-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集室

●締切り 2002年5月24日(金)消印有効

VOL.44の答えは「カラカサ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。杉浦治幸様(盛岡市) 静野優子様(高崎市) 丹羽政博様(斜里郡) 松本さおり様(北蒲原郡) 伊東ひとみ様(越谷市) 西岡美雪様(亀岡市) 金子金造様(留萌市) 自島孝吉様(春日部市) 日下しずえ様(登米郡) 朝倉三男様(豊橋市)

氏名 寺本研吾

生年月日 昭和48年6月19日

出身地 千葉県

所属 第二営業部東関東課

家族 独身



——日頃どんな仕事をしていますか？

第二営業部東関東課に所属し、埼玉県北部地区の営業を担当しております。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

昔からスポーツが好きなので、今も休みの日は体を動かしています。会社の人たちでつくった野球チームにも所属し、練習や試合にできる限り参加しています。試合では、市域の大会に参加し常に勝利を目指して戦っておりますが成績は……。

また、小さい頃から映画を見るのが大好きで、時間があれば映画館にいりますが、最近は時間がなくてビデオばかりです。たまには映画館に行きたいです。

——お客様に一言どうぞ

埼玉県北部を担当して1年が経過しましたが、今まで縁のない土地だったので、1社でも多くのお客様を訪問するよう努力をしておりますが、まだまだ至らずご迷惑をお掛けしております。しかしながら、少しでも早くお客様のニーズにお応えできますよう努力していく所存でございます。今後とも三笠産業とともどもよく御願いいたします。

我・ら・三・笠・ニ・ュ・ス



氏名 千葉千加子

生年月日 昭和51年7月29日

出身地 東京都

所属 総務部総務課

家族 独身

——日頃どんな仕事をしていますか？

主な仕事は、会長や社長の秘書的なことから出動簿の管理、社内行事の運営、備品管理など、一つ一つ上げればきりがありませんが、会社が円滑に活動できるため、社員が仕事をしやすいための環境作りを心がけ毎日の業務を行っております。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

子供の頃から読書が好きで、学生の頃は、文豪と呼ばれる人たちの作品、特に太宰治や坂口安吾など、無頼派と呼ばれる少し荒んだ感じのある男性作家が好きで読んでおりましたが、最近では直木賞をとった唯川恵さんや、林真理子さん、山本文緒さん等女性作家の書く、共感できる身近な世界のものをよく読んでおります。

——お客様に一言どうぞ

総務では三笠ニュースの編集もしております。三笠クイズへの応募の多いときは、やはりとても嬉しい気持ちになります。今後も、皆さんのたくさんのご応募並びに、ご愛読の程をよろしくお願い致します。又、三笠ニュースに取り上げて欲しいテーマ、企画などありましたら是非お寄せください。